

## キタ！からきた



だより

第153号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。

[kitasibu2012@yahoo.co.jp](mailto:kitasibu2012@yahoo.co.jp) 大阪北支部宛



## 「こんなところに社会福祉士がいた！」

<大阪北支部・会員リレー紹介 041> レポーター（水流添 真）

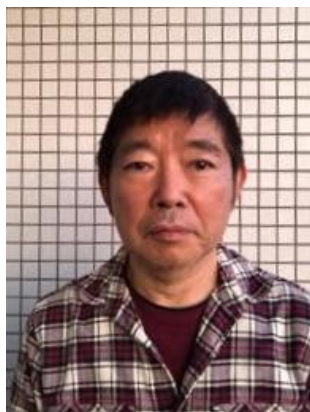


今回は東田明久さんの登場です。現在大阪市子ども青少年局にお勤めで、主に保育所の創設に関わる業務をされています。事務の仕事ですが、事務的だけでは終わらないことを熱く語っておられました。

世間では送迎バスに園児が取り残された事件や、保育士が保育所に通う子どもに虐待をしたことなどが報道されていますが、この逆風が現在保育士の置かれている待遇の悪さを変えるチャンスにならないかと考えています。

保育所の創設などの手続きに来られた事業所の方に、書類上の不備を伝えるだけではなく、なぜ、このような書類が必要か説明し、書類の意図するところを保育所の現場で基本的にして欲しいことにつなげて、掘り下げて説明されています。

元々は事務職として大阪市に入職し、20年以上前に福祉事務所へ異動になり、様々な福祉現場において手続きを進める中で、制度の隙間にはまってしまった方をどのようにフォローできるか考え、また、職場の社会福祉士の話も聞いて、自身も社会福祉士を取得しようと決められたそうです。社会福祉士になる学びの中で、単に慈善的にするのではなく、ルールは守りつつ、こぼれ落ちてしまう人にも等しく幸せになっていただけるよう制度の活用を勤めるようになったそうです。異動当初は、利用者の方に一方的な説明をするだけだったので、それではその方が単に制度の受け手になってしまい、自分の力になっていかないことを社会福祉士の学習によって習得し、経験としても深めることができたと話されていました。



だからこそ、「なぜ制度の活用を勤めるのか」、「なぜ説明をすることに重きを置くのか」を心がけているとのこと。相手が自身で選ぶことのできる喜びを取り戻されて笑顔になっていくのを見て、それが力になっていったそうで、やりがいが見つかったとのこと。

これからの夢は、子どもに関わる担当が一番長くなっているのでも、子どもを見守ることができるようなことができたらなおさら、私も一緒にできる機会を見つけて、何か作り出したいとなりました。

## 「2022年度 公益社団法人 大阪社会福祉士会 大阪北支部全体会議の報告」

令和5年3月11日（土）14:00から大阪府社会福祉会館（402会議室）及びオンライン（Zoom）にて大阪北支部全体会議を開催し、すべての議案について承認されたことをご報告させていただきます。

議案内容の詳細等については、本年の総会資料及び、本会ホームページ等に掲載されますので、ご確認ください。



1. 2022年度 大阪北支部事業報告の承認の件
2. 2022年度 大阪北支部決算報告の承認の件
3. 2023年度 大阪北支部事業計画報告の件
4. 2023年度 大阪北支部会計予算の報告の件
5. 大阪北支部役員承認の件



（支部役員については以下の通り。敬称略）

【支部長】横田隆作【副支部長】小室泰美、岡由紀子、田中宏幸

【事務局長】穂山義照【会計】廣道尚之【監事】李千秋【相談役】小笠原範昭

【企画広報委員】今恵里子、吉田寿子、前田照志、石前浩之、谷口順子、遠藤幸一、黒瀬健、東田明久、新徳剛久、奥田教之、松下麻美、和泉美和子、麻生達也、木本雅人、水流添真、島岡繁希、津田愛、福神園己